

令和5年度自己評価結果公表シート

宝珠学園幼稚園

1. 本園の教育目標

本園は、早期における人格形成と倫理観の確立を目標に「こころ」を重視した保育活動を行っています。努力する心と感動する喜びをはぐくむ体育・音楽教育、基礎能力を遊びの中から自然に引き出す知育教育など、バランスある保育活動を展開しています。

- ◇敢為進取 何でも積極的に進んで事にあたる
- ◇責任自主 自分のことは自分でする
- ◇誠実勤労 何事にも真心を持って骨惜しみしない

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

より質の高い充実した保育ができるよう、教職員が長く安定して活躍できる環境を作るよう努める。また、若い人材を積極的に採用し園全体で育成していく。
安全管理を徹底して行う。また、感染予防への当園での方針を説明しその取り組みを色々な考えの方々に理解してもらえるよう努める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
人材確保のための環境整備	A	中堅の教員が本園で二度目の産休・育休を取得することになったが、代替教員を速やかに確保し、本人と綿密に話し合い休業前後の担当業務を調整することにより安心して休業・復帰してもらえる環境づくりができた。
感染対策の継続と相互理解	B	新型コロナウイルスの感染対策として必要な予防は継続して行った。そしてそれを不足または過剰とご指摘される保護者の方々には個別に当園の方針を説明し理解してもらえるよう努めた。
安全な保育環境作り	A	遊具や教室内外の設備の安全点検は引き続き実施しており、送迎バスに安全装置を設置するとともに降車の確認を徹底して行った。保育環境をよりよいものにしていくための改善案が生まれるよう園内ミーティングを実施した。
若い人材の採用	B	今年度新卒で採用した教員一名が年度末で退職した。来年度はクラス減少のため、新卒者の教員の募集は行わなかったが、ベテランの事務職員が定年退職するため新卒者を採用。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	本年度の目標や計画の達成のためにその趣旨を理解し、全教職員がおおよそ保育内容の向上に努めることができた。 常に子どもの安全を第一に考え、保育活動を行うことができた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
若い人材の採用と育成	新卒者を含む若い人材を採用し、当園の教育理念を理解し長く活躍できるよう育成していくために、コミュニケーションをどう取っていくかが課題。
子どもの健康	近年の気温上昇に伴い子どもの熱中症のリスクが高まってきているため、屋外で行う保育活動を見直し、内容や日時の調整等を行いリスクを減らすことが必要。

6. 学校関係者の評価

ベテランの先生の方が安心感がありますが、子どもにとって親しみやすい若い先生も必要だと思います。若い先生を定期的に採用し、成長してもらうことによっていいバランスが保たれるのではないのでしょうか。
安全対策はしっかり行っていると思われるので安心できます。
その外は特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められます。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると、認められている。